

合同教育研究会議（9月8日開催）議事概要

1 開催日時

令和3年9月8日 13時00分～15時00分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、
宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、
劉高等教育推進センター国際教育研究部長、福島看護学部長、
高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、
川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web出席）

[事務局]

鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、北
島企画室長、高橋宮古事務局長、西川総務財務課長、八木主幹、渡部主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議7月14日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

※（3）イについては協議事項

（1）公立大学法人岩手県立大学組織規則の一部改正について

鈴木総務室長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

（2）公立大学法人岩手県立大学中期計画策定委員会規程の制定について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

（3）大学院学則の改正及び休学の延長に係る特別の事由について

ア 大学院学則の改正について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、新型コロナウイルス感染症の影響下にある現状でも、本学に来たいという学生は
大事にしたい、オンラインでゼミ等ができると良い。日本は留学生の入国が非常に難しい状況
だが、入国したらスムーズに研究ができるような体制を作ってもらいたい、との発言があった。

また、委員から、これに関連して入学金の返納についての検討状況について質問があった。

これに対し関屋教育支援室長から、入学辞退した学生に対しては、入学金を返納すること
なったとの回答があった。

また、委員から休学の許可を受けてから2年間休学した場合の入学金の返納の可否について
質問があり、関屋教育支援室長から、これに関しては別の議論が必要であるとの回答があった。

内容について、原案のとおり了承された。

イ 休学の延長に係る特別の事由について（協議事項）

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、新型コロナウイルス感染症の影響により、単位修得に必要な実習ができないことによる休学が認められるのか、また、新型コロナウイルス感染症以外の事由についても対応できるものか、との発言があった。

これに対し、鎌田学生支援室長から、現段階の指針を資料No.2（P.32）の2（2）に「新型コロナウイルス感染症に類似するような」と、記載しており、新型コロナウイルス感染症に関する事由に限らず、同様の事由も認められるものであるとの発言があった。

また、委員から、特別の事由等については、「定める」ではなく「認める」という表現が適切であるとの発言があった。加えて、このような内容を規定する際は、「本人の責めに帰さない事由によって」という文言を入れた方が良いとの発言があった。

協議事項

（1）学籍異動（退学・休学・復学）に係る意見書の作成について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、学籍異動に関しては基本的に学部の意見が尊重されるものであるが、今回の意見書の導入により、将来的に、権限が決裁権者（学長）にあるという風に一人歩きしてしまうことを懸念しているとの発言があった。

これに対し、石堂副学長から、意見書はあくまでも各学部における手続の適正性を確認するためのものであるとの発言があった。

また、委員から、実際に保証人からの問い合わせが想定されるのか、との発言があり、石堂副学長から、保証人が学生の学籍異動の申し出を知らなかったという場合があり、内容を確認するための記録が必要であると考えている、との回答があった。

また、委員から、意見書の様式について、項目を追加したい場合はどのようにすれば良いか、また、実際に様式に記入する際、どの程度の内容が必要なのか、との質問があった。

これに対し、三上学生支援本部長から、記載例を作成する、また、疑問があれば学生支援本部に照会いただければ対応する、との発言があった。

学長から、手続としては厄介な面もあるかもしれないが、寧ろ、尽くすべきところは尽くしたとなるように進めていくようお願いしたい、また、今後の運用について、提示をお願いするとの発言があった。

三上学生支援本部長から、11月の運用開始を予定して進めていくとの発言があった。

（2）学生の海外渡航（留学）緩和に対する特例の設置について

亀田学部長から、資料に基づき説明があった。

これに関連して、関屋教育支援室長から、本学の海外渡航への対応マニュアル、国の海外留学支援制度、国のワクチン接種支援事業について説明があった。

石堂副学長から、マニュアルに関しては所管する危機管理対策本部で議論すべきでないかとの発言があった。併せて、宮野副学長から、教育支援本部と危機管理対策本部とで進め方も含めて協議してほしいとの発言があった。

報告事項（口頭報告）

- (1) 令和3年度第2回学務調整会議の開催概要について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
学長から、高校でデータサイエンスを学んだ生徒が大学進学する段階になってきたため、入試をどうするか、入学してきた学生に対する教育をどうするかの方について検討を進めていきたいとの発言があった。
- (2) 令和4年度大学入学共通テストに係る試験監督者の選出依頼について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (3) 令和4年度科学研究費助成事業の学内締切について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (4) 教育研究者総覧の更新について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (5) 2021年度APRIN eラーニングの履修状況について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (6) 令和3年度岩手県立大学の就職内定状況（8月末現在）について
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (7) 中期目標期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する県評価委員会の評価結果について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (8) 令和2事業年度業務実績に関する県評価委員会の評価結果について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (9) 認証評価受審に向けた作業の経過報告及び内部質保証システムについて
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
学長から、資料105頁の図について、これまでの本学の取組を上手く表している、との発言があった。
橋本企画本部長から、資料No.14の図や内部質保証システムについての記述を見て納得していただき、理解した上で、先に進んでいければと考えているとの発言があった。
- (10) 令和3年度各学部の自己点検・評価に係る外部有識者の委嘱及び意見交換等について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (11) 令和3年度後期以降の学務情報支援システムの整備状況等について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (12) 学内ウェブサイトの改修について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (13) 令和3年度新入生及び2年次生アンケートの結果について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (14) テレビ番組内での本学イベント等の告知の募集について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (15) 令和3年度防災訓練の実施方針について
鈴木総務室長から、資料に基づき説明があった。

2 報告事項（資料報告）

- (1) 令和3年度滝沢学年暦（R3.9.24 一部補正）
- (2) 令和3年度宮古学年暦（R3.7.21 一部補正）
- (3) 令和3年度秋季学位記授与式実施概要
- (4) 令和3年度秋季入学式について
- (5) 令和4年度サバティカル研修者選考委員会結果について
- (6) 令和3年度前期「English Time」開催結果について
- (7) 大学院入試（社会福祉学研究科学内推薦入試、ソフトウェア情報学研究科第1次募集）選抜結果について
- (8) 大学院入試（看護学研究科、社会福祉学研究科、総合政策研究科第1次募集）出願状況について
- (9) 令和4年度編入学試験出願状況について
- (10) LGBTに関する対応検討について（報告）
- (11) 令和3年度全学競争研究費の採択結果について
- (12) 岩手県立大学と矢巾町との包括的連携協定の締結について
- (13) 国の修学支援新制度に係る機関要件の更新確認結果について
- (14) 令和3年度ハラスメント防止対策研修会の開催について
- (15) 「令和3年度第4回職員衛生委員会」の結果について

その他

学長から、9月15,16日に本学主催で開催するLINKktopos2021について、防災減災をテーマとしており、1,2年生に是非参加していただきたいとの発言があった。

委員から、内部質保証システムに関する図を見て、中期計画策定委員会を新たに設置する意義に納得できた、多くの先生に理解していただくよう努めていただきたい、との発言があった。

また、委員から、科研費申請について力を入れて取り組んでおり、良い内容で数多くの申請がなされるように報告を期待している、との発言があった。また、情報提供として、国家公務員の就職内定状況について8月17日に一般職の合格発表があったが、本学からも合格者が出ていると思われるので、今後の活躍に期待したい、との発言があった。